

専修大学商学研究所所報

(令和5年2月15日現在)

1 運営

(1) 第1回定期所員総会

令和4年5月17日(火) 15:00~15:40
商学研究所(神田校舎1号館12階)・Zoom

- 令和3年度事業報告ならびに会計報告(承認)
- 令和4年度事業実行計画案(承認)
- 令和4年度実行予算案(5,838,412円)(承認)
【人事課移管分人件費(アルバイト料)1,076,588円】(承認)
- 令和4年度所員名簿案(承認)
- その他

(2) 第2回定期所員総会

令和5年1月31日(火) 13:30~14:30
商学研究所(神田校舎1号館12階)・Zoom

- 令和4年度事業中間報告(承認)
- 令和5年度事業計画案(承認)
- 令和5年度予算要求案(承認)
- 令和5年度予算要求明細案(承認)
- その他

(3) 運営委員会(6回開催)

- 令和4年4月19日(火) 12:20~13:00
商学研究所(神田校舎1号館12階)・Zoom
第1回運営委員会(14名)
- 令和4年5月17日(火) 12:20~13:00
商学研究所(神田校舎1号館12階)・Zoom
第2回運営委員会(11名)
- 令和4年7月19日(火) 12:20~13:00
商学研究所(神田校舎1号館12階)・Zoom
第3回運営委員会(10名)
- 令和4年11月1日(火) 12:20~13:00
商学研究所(生田校舎分館5階)・Zoom
第4回運営委員会(12名)
- 令和4年12月20日(火) 12:20~13:00
商学研究所(神田校舎1号館12階)・Zoom
第5回運営委員会(10名)
- 令和5年1月31日(火) 12:20~13:00
商学研究所(神田校舎1号館12階)・Zoom
第6回運営委員会(9名)

2 研究活動

(1) 定例研究会

第1回定例研究会(8名)
日時:令和4年12月20日(火) 13:00~15:00
会場:ZOOMによるオンライン開催
報告者:【第1部】13:00~14:00
勝部伸夫「企業買収と企業観」
【第2部】14:00~15:00
八島明朗「家庭向け電気サービスの選択における発電方法の影響の検討」

第2回定例研究会(9名)
日時:令和5年1月17日(火) 13:00~16:00
会場:ZOOMによるオンライン開催
報告者:【第1部】13:00~14:00
内野 明「深層学習がもたらすもの——AIと囲碁との関係から」
【第2部】14:00~15:00
福原康司「企業家的ミドルの探索:越境するリーダーの役割と育成」

割と育成」

【第3部】15:00~16:00

柏木 悠「商学研究とスポーツ科学のコラボレーションの可能性」

(2) 公開シンポジウム

1. 専修大学商学研究共同公開講座(参加人数21名)

開催日時:令和4年12月17日(土) 13:20~16:00
開催方法:オンライン開催「Zoom」
メインテーマ:「アジアのビジネスリスクについて」
プログラム:13:20~16:00

- 開 講 13:20
- 挨拶 ~13:30
専修大学大学院商学研究科長 商学部教授 小林 守
- 東京信用保証協会「海外展開について」13:30~13:45
- 講演会

【第1部】13:50~14:10

「台湾の半導体業界における地政学リスクについて」

講師 専修大学商学部教授 田島真弓

【第2部】14:10~14:30

「ベトナムのパンデミックリスクと地政学リスク」

講師 ベトナム三菱商事VP地域戦略・総務部人事部長 佐橋拓哉

【第3部】14:30~14:50

「米中対立とベトナムのサプライチェーン」

講師 専修大学商学部教授 池部 亮

5. パネルディスカッション 15:00~16:00

テーマ「アジアのビジネスリスクについて」

コーディネーター 専修大学 名誉教授 上田和勇

パネリスト 田島真弓

佐橋拓哉

池部 亮

2. 専修大学商学研究所主催第2回公開シンポジウム

開催日時:令和5年2月25日(土) 14:30~18:00

会場:専修大学神田キャンパス7号館3階731教室

全体テーマ:「ロシア経済とミャンマー軍事政権が国際経営に及ぼす影響」

後 援:アジア市場経済学会, 東京信用保証協会

プログラム:

14:30 開会ごあいさつ 岩尾詠一郎(専修大学教授・商学研究
所長)

14:35~15:25 プログラム1:「軍事クーデターで翻弄された
ミャンマーの政治経済」

演者:西澤信善(東亜大学教授, 神戸大学名誉教授)

15:30~16:20 プログラム2:「ロシア経済について抑えておく
べきポイント」

演者:遊佐弘美(国際協力銀行(JBIC)外国審査部・エコノミスト)

16:25~18:00 プログラム3:パネルディスカッション

(16:25~16:30) 登壇者紹介

司会 大崎恒次(専修大学准教授・商学研究所員)

(16:30~16:50) 問題提起1:「自動車業界に迫られるサプ
ライ・チェーンの見直し」

演者:福島優子(NHKワールドTVキャスター)

(16:50~17:00) 問題提起2:「外交リスクが国際企業に与える
影響のフレームワーク」

演者:高橋義仁(専修大学教授・商学研究所員)

(17:00~17:10) 問題提起3:「アジアの国際競争と協調」

演者:池部 亮(専修大学教授・商学研究所員)

(17:10-17:55) パネルディスカッション

モデレーター 福島優子

登壇者 福島優子, 西澤信善, 遊佐弘美, 高橋義仁, 池部 亮

17:55 総括とごあいさつ 岩尾詠一郎

(3) 研究プロジェクト

- (A) 小林チーム：小林 守 所員・池部 亮 所員・上田和勇 所友・田島真弓 所員
「グローバル化と国際危機管理に関する諸問題～異文化リスクとパンデミック リスク～」
(予算：50万円) 3ヵ年計画の3年目
- (B) 大崎チーム：大崎恒次 所員・岩尾詠一郎 所員・岡田 穰 所員・八島明朗 所員
「持続可能な地域社会の形成に向けた中小企業・組織のかかわり：浸透・普及・継続への取り組みに着目して」
(予算：50万円) 3ヵ年計画の2年目
- (C) 神原チーム：神原 理 所員・阪本将英 所員・福原康司 所員・泉貴久氏)
「システム思考にもとづくアクティブ・ラーニング—高・大・産連携による社会科学教育—」
(予算：50万円) 3ヵ年計画の1年目

(4) 国際交流

- ①国立台北大学社会科学院との共同プロジェクト
「デジタルエコノミーが若者のライフスタイルやビジネスのイノベーションに与える影響」
の分科会で論文発表
日 時：令和4年11月12日(土) 16:00~17:40(台湾時間)
会 場：台湾社会学会大会 国立屏東大学(台湾)
テーマ：「股票 App 興理財公民運動在世代正義所扮演的角色：以臺灣與日本的年輕小資族為例」
報告者：田島真弓

3 刊行書籍

(1) 商学研究所報発行

- 第54巻第1号(令和4年8月) 上田和勇 所友(300部)
「Well-being 経営のルーツと近年の事例に関する研究—角倉素庵から塚越 寛までの検討を中心に」
第54巻第2号(令和5年2月) 小林 守 所員(300部)
「ビジネス小説に学ぶ国際プロジェクトのマネジメント—国際プロジェクトにおける異文化の壁と政府の関与—」

第54巻第3号(令和5年2月) 石川和男 所員(300部)
「近世におけるわが国の商取引遺産をめぐって—「北前船」出現以前の商品輸送を中心として—」

第54巻第4号(令和5年2月) 渡辺達朗 所員・山崎万緋 準所員(300部)
「戦時統制下の神保町古書店の研究—組合組織と公道価格制を中心にして—」

第54巻第5号(令和5年2月) 岡湜 準所員(300部)
「中国における生鮮食品 EC の展開 —産地直送型から生鮮 O2O 型モデルと社区團購モデルへ—」

第54巻第6号(令和5年3月) 岡田 穰 所員(300部)
「災害・地域による比較からみた首都圏における非常食購入時に気にする情報・印象の評価」

第54巻第7号(令和5年3月) 鹿住倫世 所員(300部)
「日本の地方都市における女性の起業促進策について—女性起業家の正当性獲得の視点から—」

(2) 専修ビジネス・レビュー発行

第18号(白桃書房, 令和5年3月)(400部)

【論文】

- 石川和男 所員「リテールマーケティング研究への道程(5) —中心となる理論化の焦点—」
上田和勇 所友「Well-being 経営の構成要因と事例分析」
小藤康夫 所員「人生100年時代の生命保険」
阪本将英 所員「環境および社会経済の危機の克服に向けた認識と選択—公共選択としての合理性—」
山崎万緋 準所員・渡辺達朗 所員共著「川崎市麻生区における商業集積の構造変化に関する実証分析—多様性とコミュニティ対応力の観点からみた持続可能性の検討—」

【研究ノート】

- 小林 守 所員「ビジネス小説にみるリスクマネジメント—戦前戦後の大規模建設にみるコミュニケーション、モチベーション、チームデベロップメント—」

(3) 商学研究所叢書

叢書第22巻 渡辺達朗編著(白桃書房, 令和5年3月)(100部)
『地域情報のデジタルアーカイブとまちづくり—「神田神保町アーカイブ」をめぐって—』

4 その他

所員数は、合計66名(内、準所員2名)